

戸隠窯・織部

# 小山智徳 作陶展

2014年7月において初めて個展をしてから隔年で6回目の個展です。僅か11年のお付き合いとは思えないほどのたつぷりとした時間を感じています。何せハンデミックを挟んでいるので時間の感覚が狂います。ほぼ会期中は在廊していることもあるでしょうか・・・日頃の不精もあって人付き合いが極めて少ないので、せめて個展の間ぐらいいはと思っています。

小さな美術館を訪れた時に「どうしてここに・・・？」と見覚えのある写真に気付いたのが2014年である。「鳥追い」の写真でした。それで先日小林古径記念美術館で濱谷浩展を観てきました。

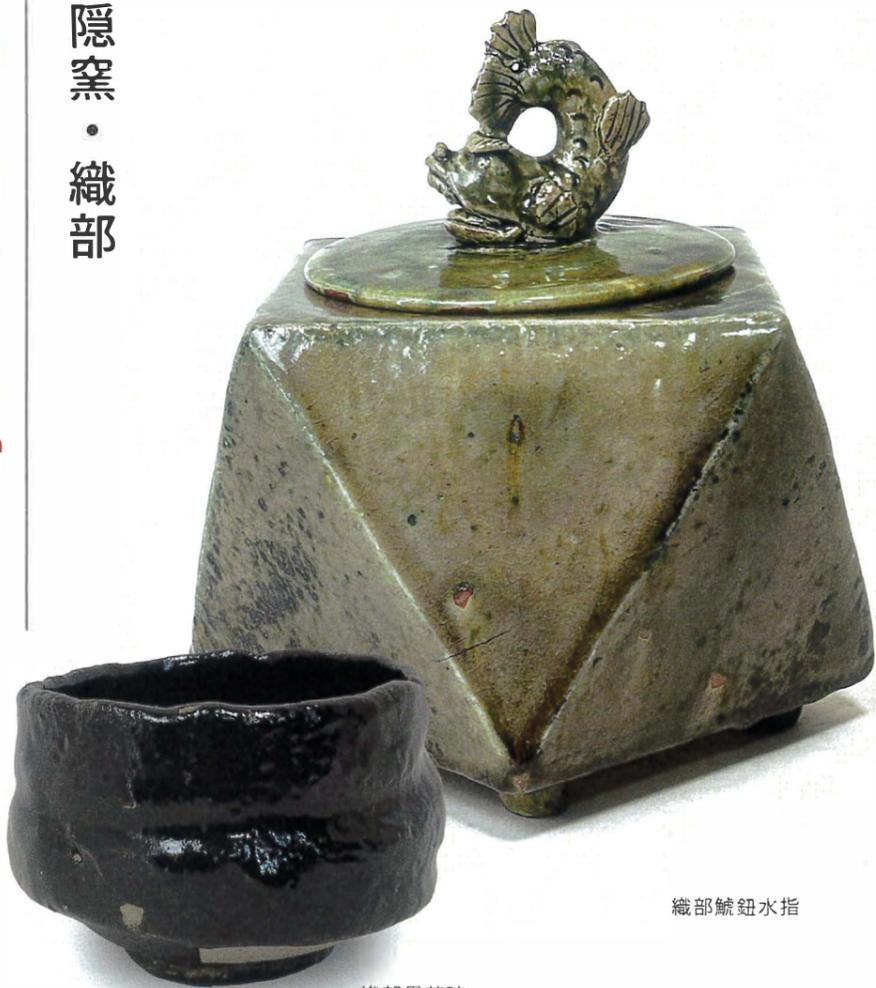
・・・あの胸元まで泥に汚れた農婦の写真は「良寛遊戯」に描かれていたことも思い出しました。

それまで子どもたちと海水浴に行く時に通り過ぎるだけだった街の歴史も、少しずつ知りました。

戸隠の神社には高田の戸隠講から奇進された立派な常夜灯や狛犬も数多あるのです。上越の多くのお寺さん酒蔵さんや茶道に造詣の深いユニークな方々に会うことが出来たのは他ならぬギャラリーの場の持つ力でした。

高田世界館には度々足を運ぶしすっかり身近になった御地です。またどんな出会いに恵まれますか楽しみに致しております。

小山智徳



織部鯨鈕水指

織部黒茶碗



織部大手鉢



古染写し赤織部向付

青織部徳利

鳴海織部さけのみ

## Exhibition of KOYAMA Tomonori



織部瓶子



織部狛犬